

学校教育目標

心豊かで生き生きと学習する長東西っ子

学校像

- 魅力のある学校
- 勢いのある学校
- 美しい学校

子ども像

- 自ら学び、自ら考える子ども
- 豊かな心をもつ子ども
- 仲間とともにたくましく生きる子ども

教師像

- 教育に対する情熱と使命感をもつ教職員
- 豊かな人間性と確かな指導力のある教職員
- 実践的な指導力のある教職員

学力・体力の向上

できる喜びが自信につながる学校  
分かる喜びが味わえる学校

基礎的な学力を付ける指導に努める。

- 帯タイムの活用
- < 算数タイム >
- 計算の定着や思考力の育成
- < 読書タイム >
- 本を進んで読める環境づくりや読書ボランティアの読み聞かせ
- < 国語・英語タイム >
- 1～4年生は国語学習
- 5・6年生は英語活動

新体力テストで課題を把握し体力の向上に努める。

- 実態を把握し体育科の授業の中で課題に取り組む。

確かな学力の定着を図る授業づくりに努める。

- 研究主題を決めて外部評価を取り入れた全体研修会を実施する。
- よく分かる楽しい授業を実現するために公開授業を実施する。

授業参観



豊かな人間性の育成

やさしさや思いやりがある学校

気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉づかいができる児童を育てる。

- 「時・場」「相手の気持ち」に応じた言動が取れるための指導を行う。
- 気持ちのよいあいさつについて、自分の生活を振り返り、意識を高める取り組みを行う。



自他の良さを認め、お互いを尊重し合う仲間づくりに努める。

- 児童の実態に即した題材を取り入れ、人権意識を高めるための授業を行う。
- 自他のよさを認め合う取組を行う。

まちぐるみによる教育の実践

家庭・地域への情報発信に努める学校

保護者・地域に学校教育活動を積極的に発信する。

- 学校便り・学年便りを発行する。
- 学校ホームページを更新し、情報を発信する。

地域内外の人材や保護者ボランティアを積極的に活用する。

- 図書・情報ボランティアを年間を通じ計画的に活用する。
- 学習支援ボランティアを年間を通じ計画的に活用する。



環境整備

環境整備の充実と児童との交流

魅力ある学校にするため、食べことを通して、児童たちとかわることに努める。

- 給食交流に参加する。

美しい学校にするための工夫と児童たちが安全に過ごせる学校づくりに努める。

- 修理を要する箇所があれば、早急かつ計画的に修理し、児童の安全について配慮する。

幅広い学習内容に対応できるように、予算の有効執行に努める。

- 備品や消耗品が有効に利用されているか、実態を把握する。
- 備品や消耗品を使いやすい環境づくりをする。



